

ポリマーセメント系鉄筋防錆材 α 防錆ペースト

東・中・西高速道路(株) 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材」品質規格適合品
西日本旅客鉄道(株)「コンクリート構造物補修の手引き」認定材料

α 防錆ペーストとは...

α 防錆ペーストは中性化や塩害によって腐食した鉄筋の防錆材です。再乳化型粉末樹脂をブレミックスした「 α 防錆ペーストパウダー」と亜硝酸リチウム水溶液「リフレ α 」と所定量の水を混練することで、高い防錆性を有するポリマーセメント系防錆材が得られます。

ハケまたはリシガンを用いて鉄筋表面および下地コンクリートはつり面に塗布して下さい。

α 防錆ペーストの特長

- 鉄筋表面の不動態被膜の形成
リフレ α の亜硝酸イオンおよびポリマーセメントの高アルカリ性により、鉄筋表面に不動態被膜を形成し、高い防錆性を付与します。
- 遮蔽被膜の形成
高P/Cポリマーセメント被膜により、鉄筋腐食の原因となる有害な腐食因子を遮断します。
- 高い鉄筋との付着性
高P/Cポリマーセメントのため、コンクリートや鉄筋に強力に付着し一体化します。
- コンクリート下地に亜硝酸リチウム水溶液「リフレ α 」(別売り)を塗布、含浸させることでより高い防錆性が得られます。



荷姿：19.1kg缶

α 防錆ペーストパウダー (セメント・ケイ砂・再乳化型粉末樹脂) ... 4.5kg袋×4袋
リフレ α (亜硝酸リチウム25%水溶液) ... 1.1kgポリ瓶×1瓶

標準配合

α 防錆ペースト (1缶)		練り上がり量	標準塗布量	塗布可能面積の目安 ※
α 防錆ペーストパウダー	18kg (4袋)			
リフレ α	1.1kg (1瓶)	22.5kg (密度1.85)	1.85kg/m ² (1mm厚み)	標準工法 約17m ² 塩害工法 約6m ²
清水	3.2~3.6kg			

※計算根拠 (ロスは含んでいません)

・はつり深さを50mmに設定

・過去の経験値より、はつり面1m²に介在する鉄筋展開面積を0.7m²として計算

$$\text{標準工法} \quad \text{練り上がり量} \quad 1\text{m}^2\text{当たり塗布量} \\ 22.5\text{kg} \div (0.7\text{m}^2 \times 1.85\text{kg}) = 17.4\text{m}^2$$

$$\text{塩害工法} \quad \text{練り上がり量} \quad 1\text{m}^2\text{当たり塗布量} \\ 22.5\text{kg} \div ((1.2\text{m}^2 + 0.7\text{m}^2) \times 1.85\text{kg}) = 6.4\text{m}^2$$

α 防錆ペースト試験結果の一例

項目	単位	材齢・条件等	測定例	備考	
簡易フロー値	mm	—	114	JASS15M-103フロー試験準拠	
単位容積質量	—	—	1.85		
曲げ強度	N/mm ²	1日	1.8	JIS A 1171準拠 20°C・90%RH養生	
		7日	5.5		
		28日	7.8		
圧縮強度	N/mm ²	1日	3.7	JIS A 1171準拠 20°C・90%RH養生	
		7日	13.8		
		28日	19.5		
付着強度	N/mm ²	【コンクリート板】 7日	1.8	建研式付着試験 ※断面修復材との付着強度	
		28日	3.4		
		【鉄板】 7日	1.1		
		28日	1.3		
		【鉄筋との付着性】	13.1	コンクリート板 + α 防錆ペースト + 弊社NEWリフレモルセット 試験体を使用	
		【断面修復材】 28日	2.3		
*1 鉄筋防錆性	測定例(1)	防錆率, %	基材部 補修部	61 84	打継ぎ部リフレ α 塗布なし 塩化物イオン量=0kg/m ³
	測定例(2)	防錆率, %	基材部 補修部	79 100	打継ぎ部リフレ α 塗布あり 塩化物イオン量=3kg/m ³

注) 上記は、社内実験室での測定値であり、品質保証値ではありません。

*1：日本建築学会/鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)付1.3鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質試験(案)に準拠。
基材部および補修部ともS/C=2、W/C=65%のモルタルを使用しています。

施工方法

下地清掃

- ▶ コンクリートはつり面の脆弱部および鉄筋表面の錆を、ケレン清掃等により取り除いて下さい。
- ▶ コンクリート面を高圧水洗で洗浄して下さい。水洗ができない場合は、ブロアーにより下地の埃を十分に除去し、水湿した後、指触乾燥状態まで養生して下さい。

α防錆ペーストの混練

- ▶ 水・リフレαを練り容器に投入後、攪拌機で攪拌しながらα防錆ペーストパウダーを徐々に投入し、均一なスラリーとなるよう2分間以上混練して下さい。

α防錆ペーストの塗布

《標準工法》

- ①鉄筋が乾いていることを確認後、刷毛で1mm厚みを目安に塗布して下さい。
- ②α防錆ペーストが指触乾燥後、コンクリート下地に※断面修復用プライマーを塗布して下さい。

※推奨：リフレトリート(当社断面修復専用プライマー)

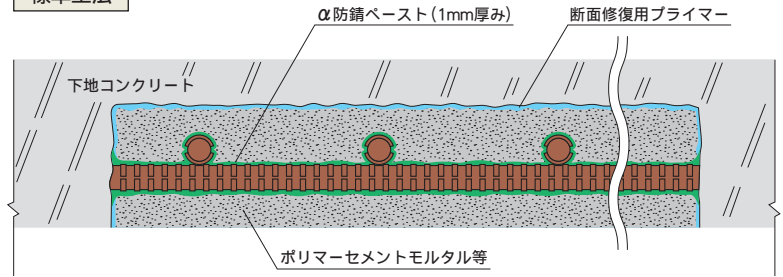
《塩害対策工法》

- 下地が乾いていることを確認後、亜硝酸リチウム水溶液「リフレα」(別売り)を下地に塗布して下さい(塗布量=0.2kg/m²)。塗布後、下地及び鉄筋の指触乾燥を確認後、α防錆ペーストを刷毛、リシンガン等を用い、下地及び鉄筋に1mm厚みを目安に塗布して下さい。

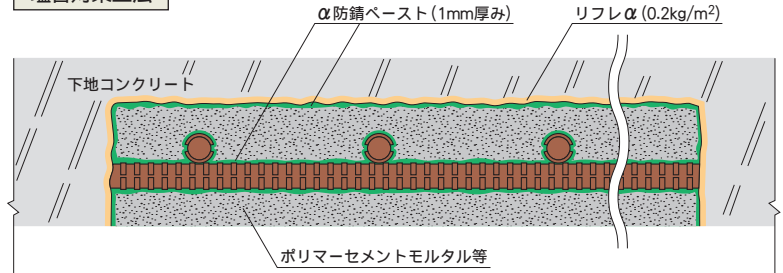
養生・断面修復工

- ▶ 施工後は、降雨、強風、直射日光、凍結を避けて下さい。
- ▶ α防錆ペースト塗布後、指触硬化を確認して断面修復を行って下さい。
- ▶ 塩害対策工法で、速乾性(速硬性)断面修復材を用いる場合は、16時間以上の養生を行って下さい。
- ▶ α防錆ペースト塗布後、2日以上時間が空いた場合、表面にリフレトリートを塗布することによりタックが出て断面修復材の施工性が向上します。

標準工法



塩害対策工法



ケレン後の鉄筋



α防錆ペーストの混練



α防錆ペーストの塗布(塩害対策工法)



α防錆ペーストの塗布完了(塩害対策工法)



安全上の取扱い注意事項

- ・本製品はアルカリ性です。作業をする際には、目、皮膚等に直接触れないように、保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・施工後は、手、顔等をよく洗って下さい。
- ・応急処置
目に入った場合は、ただちに清浄な水で15分以上洗浄し、眼科医の診察を受けて下さい。
- ・保管上の注意
0℃以下、40℃以上にならないように保管して下さい。
- ・廃棄上の注意
α防錆ペースト、リフレα、水を混ぜてモルタル状にし、硬化後に産廃物として処分して下さい。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- | | | |
|------|-----------|--------------------------------|
| 東京 | 〒105-8641 | 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F) |
| 大阪 | 〒530-0004 | 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F) |
| 名古屋 | 〒450-0003 | 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F) |
| 札幌支店 | 〒060-0003 | 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F) |
| 東北支店 | 〒980-6003 | 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F) |
| 北陸支店 | 〒920-0849 | 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F) |
| 四国支店 | 〒760-0033 | 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F) |
| 広島支店 | 〒732-0827 | 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F) |
| 福岡支店 | 〒812-0011 | 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F) |

- | | | | |
|----|--------------|-----|--------------|
| 電話 | 03(6370)2721 | Fax | 03(6370)2759 |
| 電話 | 06(6342)7704 | Fax | 06(6342)7708 |
| 電話 | 052(566)3202 | Fax | 052(566)3273 |
| 電話 | 011(241)3901 | Fax | 011(221)1017 |
| 電話 | 022(225)5251 | Fax | 022(266)2516 |
| 電話 | 076(223)1505 | Fax | 076(223)0193 |
| 電話 | 087(851)6330 | Fax | 087(822)6870 |
| 電話 | 082(577)7645 | Fax | 082(577)7646 |
| 電話 | 092(481)0186 | Fax | 092(471)0530 |

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は